



# 平成30年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年6月8日

上場会社名 株式会社鳥貴族  
 コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 平成30年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年7月期第3四半期の業績(平成29年8月1日～平成30年4月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第3四半期	25,209	18.0	1,473	49.6	1,420	47.0	911	37.8
29年7月期第3四半期	21,367	21.8	985	7.3	966	5.9	661	14.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第3四半期	78.65	
29年7月期第3四半期	57.12	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第3四半期	18,525		7,151			38.6
29年7月期	15,942		6,333			39.7

(参考) 自己資本 30年7月期第3四半期 7,151百万円 29年7月期 6,333百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期		4.00		4.00	8.00
30年7月期		4.00			
30年7月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年7月期の業績予想(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,939	25.9	2,363	62.2	2,281	59.9	1,339	38.4	115.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年7月期3Q	11,622,300 株	29年7月期	11,622,300 株
期末自己株式数	30年7月期3Q	34,700 株	29年7月期	34,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年7月期3Q	11,587,600 株	29年7月期3Q	11,577,540 株

(注) 当社は、平成29年7月期第2四半期会計期間より株式給付信託(BBT)を導入しており、純資産の部において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景に雇用及び所得環境の改善が進む中、企業収益の改善も持続しており、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外経済の不確実性もあり、依然として不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、原材料費の高騰、人件費の上昇及び人手不足等を背景に経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社では、新たに中期経営計画「うぬぼれチャレンジ1000」（平成30年7月期～平成33年7月期）を策定し、中期経営計画の最終年度である平成33年7月期には、関東圏・関西圏・東海圏の3商圏で「鳥貴族」1000店舗・営業利益率8%を達成するため、重要施策である「新規出店の強化」「人財基盤の強化」「経営効率の改善」に引き続き取り組んでおります。また、人件費の上昇、仕入価格の高騰リスクや酒税法改正の影響等の経済的諸条件を総合的に検討し、平成29年10月より均一価格を280円（税抜）から298円（税抜）に改定致しました。新たな均一価格においても引き続きお客様にご支持頂けるよう、より一層尽力して参ります。

なお、当第3四半期累計期間は関東圏及び東海圏を中心に62店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は625店舗（前事業年度末比58店舗純増）となりました。当社の直営店につきましては、当第3四半期累計期間は52店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末日においては390店舗（同48店舗純増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間は、関東地方における記録的な長雨や平成29年10月において2週続けて週末に台風が上陸したこと、1月の関東地方の豪雪、価格改定等の影響があり、既存店売上高は前年同期比98.4%にとどまりましたが、一方で新規出店による店舗数が増加したこと等により、売上高は25,209,157千円（前年同期比18.0%増）となり、売上総利益は17,498,045千円（同20.7%増）となりました。販売費及び一般管理費は、店舗数拡大による増加等により16,024,464千円（同18.6%増）となりました。これらにより、営業利益は1,473,581千円（同49.6%増）、経常利益は1,420,898千円（同47.0%増）、四半期純利益は911,332千円（同37.8%増）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は18,525,887千円となり、前事業年度末と比較して2,583,812千円の増加となりました。これは主に新規出店に伴い有形固定資産及び差入保証金が増加したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債は11,373,940千円となり、前事業年度末と比較して1,765,458千円の増加となりました。これは主に新規出店のための資金調達として長期借入金が増加したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産は7,151,946千円となり、前事業年度末と比較して818,354千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が増加した一方、配当金の支払いにより減少したことによるものであり、自己資本比率は38.6%（前事業年度末は39.7%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の通期業績予想につきましては、平成29年9月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,813,287	5,190,150
売掛金	246,922	313,328
商品及び製品	119,787	130,703
原材料及び貯蔵品	24,117	25,009
その他	864,959	1,009,093
流動資産合計	6,069,073	6,668,285
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,455,878	7,930,647
その他(純額)	1,375,637	1,668,286
有形固定資産合計	7,831,515	9,598,933
無形固定資産	98,749	84,474
投資その他の資産		
差入保証金	1,516,862	1,704,032
その他	433,539	476,498
貸倒引当金	△7,666	△6,336
投資その他の資産合計	1,942,735	2,174,193
固定資産合計	9,873,000	11,857,601
資産合計	15,942,074	18,525,887
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,068,884	1,101,864
1年内返済予定の長期借入金	632,800	1,008,326
未払金	1,322,625	1,413,573
未払法人税等	309,110	347,394
賞与引当金	248,289	146,667
株主優待引当金	23,896	13,999
その他	2,292,378	2,999,173
流動負債合計	5,897,986	7,030,999
固定負債		
長期借入金	1,819,362	2,111,641
退職給付引当金	56,836	70,027
役員株式給付引当金	10,662	21,159
資産除去債務	902,588	1,058,382
その他	921,045	1,081,730
固定負債合計	3,710,495	4,342,941
負債合計	9,608,481	11,373,940
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,829	1,491,829
資本剰余金	1,481,829	1,481,829
利益剰余金	3,449,739	4,268,093
自己株式	△89,804	△89,804
株主資本合計	6,333,592	7,151,946
純資産合計	6,333,592	7,151,946
負債純資産合計	15,942,074	18,525,887

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)
売上高	21,367,764	25,209,157
売上原価	6,874,472	7,711,112
売上総利益	14,493,292	17,498,045
販売費及び一般管理費	13,508,220	16,024,464
営業利益	985,072	1,473,581
営業外収益		
受取利息	95	174
保険解約返戻金	3,666	4,209
受取保険金	8,493	589
その他	17,461	8,364
営業外収益合計	29,718	13,337
営業外費用		
支払利息	30,809	44,744
支払手数料	12,734	7,506
たな卸資産廃棄損	-	9,957
その他	4,401	3,811
営業外費用合計	47,945	66,020
経常利益	966,845	1,420,898
特別利益		
固定資産売却益	12,537	14,492
移転補償金	69,938	-
特別利益合計	82,475	14,492
特別損失		
固定資産除却損	3,494	437
その他	-	45
特別損失合計	3,494	482
税引前四半期純利益	1,045,825	1,434,908
法人税、住民税及び事業税	323,736	499,143
法人税等調整額	60,775	24,432
法人税等合計	384,511	523,575
四半期純利益	661,314	911,332

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

【セグメント情報】

- I 前第3四半期累計期間(自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)  
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
  
- II 当第3四半期累計期間(自 平成29年8月1日 至 平成30年4月30日)  
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。